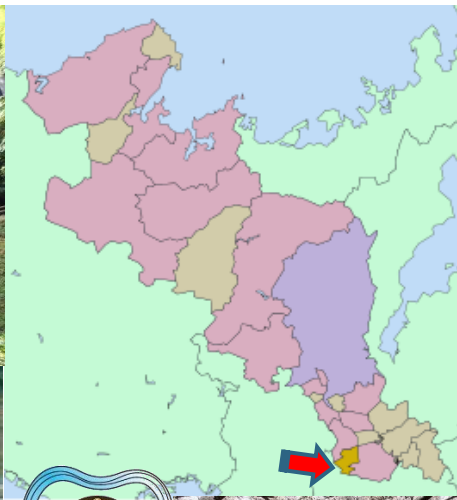


# リンクワーカー 当事者・家族支援のための方策の理解



きのわねし

# 方策の種類

☆気づき・診断の頃に利用できる窓口等

地域包括支援センター、コールセンターetc

☆休職したり退職の際などに利用できる制度等

傷病手当、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療etc

☆働いたり社会参加をしたい時に利用できる制度

就労支援、精神科デイケアetc

☆病状や状態に応じて利用できるサービス等

介護保険、障害者総合支援法etc

☆家計を支援する制度等

障害年金、控除、減免、生活福祉資金、奨学金etc

☆家族支援、権利・自立・尊厳を守る制度

家族の会、介護休業制度、成年後見制度etc

若年性認知症京都オレンジガイドブックより

# 実際に活用するにあたって

情報の把握と活用するためのタイミングを考える

- 傷病手当はいつの時点で受給できるのか？
- 生活福祉資金はどのような場合に貸付けできるのか？
- 認知症疾患医療センターはどこにあるのか？
- 就労継続A型にはどのような人が参加しているのか？

**Aさん事例に方策を当てはめると**

# 53歳冬～54歳夏

状況	状態や心情等	活用できるかもしれない 方策
<p>ぼーっとすることが多く、気力がなくなる。行き慣れた出張先が初めてのよう感じられる。降りる駅からの道が分からない等、身体の異変を意識し始める。</p>	<p>・あれ？おかしいな…と感じ始める</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット、リーフレット等</li><li>・認知症に関する研修会、セミナー等</li><li>・健康相談 地域包括支援センター</li><li>・健康診断</li><li>・京都府心のケアセンター</li></ul>

# 54歳秋～冬

状況	状態や心情等	活用できるかもしれない 方策
<p>仕事上のミスが目立つようになる。会社の同僚からはストレスのせいだと、産業医を受診。</p> <p>夜眠れなくなり体調が安定せず、会社を休みがち。心療内科を受診し、うつと診断され休職する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 受診したけど、よくわからない。</li><li>・ ストレス??でも生活がある…</li><li>・ 家族もどうすればよいか心配。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>職場の就労相談</b></li><li>・ <b>自立支援医療</b></li><li>・ <b>労働災害保険給付</b></li><li>・ <b>傷病手当金</b></li> <li>・ <b>物忘れ外来（認知症疾患医療センター）</b></li><li>・ <b>認知症初期集中支援チーム</b></li></ul>

# 55歳夏

状況	状態や心情等	活用できるかもしれない 方策
<p>家族に内緒で外来通院し様々な検査を受ける。結果、医師から妻と一緒に来るように言われ、若年性アルツハイマー型認知症と診断。その日に母親や妹には報告したが、子供たちには数日後、妻から説明がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 家族に内緒で受診。</li><li>• 認知症の診断が信じられない。</li><li>• 一人になると自然と涙。</li><li>• 仕事に復帰したい気持ちがあったのに…</li><li>• これからどうなっていくのか、怖い気持ち。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>認知症疾患医療センター</b></li><li>• <b>若年性認知症コーディネーター</b></li><li>• <b>家族の会</b></li><li>• <b>リンクワーカー</b></li><li>• <b>コールセンター</b></li> <li>• <b>就学援助、奨学金</b></li><li>• <b>生命保険と住宅ローン</b></li> <li>• <b>就労相談</b></li></ul>

# 55歳秋～冬

状況	状態や心情等	活用できるかもしれない 方策
<p>会社に迷惑をかけるわけにいかない思いから依願退職。 妻がパート勤務を行うようになり、Aさんが自宅で掃除や洗濯、ご飯炊き等家事を担うようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本当は仕事を辞めたくはなかった。</li><li>• これからどうなるのか、どうしていけばよいのか。</li><li>• 収入に対する不安</li><li>• 妻が担っていた家事を行うようになり苦勞。</li><li>• 日中一人になることへの不安。</li></ul>	<p><b>相談機関（法テラス等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>就労相談、支援事業所</b></li><li>• <b>雇用保険（失業保険）</b></li><li>• <b>保険料の減免</b></li><li>• <b>家族の会等当事者</b></li><li>• <b>カフェ等居場所</b></li><li>• <b>ボランティア</b></li><li>• <b>カウンセリング、保健相談等</b></li><li>• <b>見守り対応</b></li></ul>

# 56歳春～夏

状況	状態や心情等	活用できるかもしれない方策
<p>主治医の勧めで運転免許を返納。 パソコンで日記をつけることが日課。 時間のある時は、妻と一緒に散歩し喫茶店へ行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運転できなくなるのが、ひどくショック。</li><li>・何かできないか、しなければという焦り。</li><li>・何をしてもよいかわからない。</li><li>・この先どうなっていくのかという不安。</li><li>・妻は忙しさ等から苛立ち。</li><li>・2人でこれからのことを考えても限度。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>車の運転について</b></li><li>・ <b>カフェ、当事者サークル</b></li><li>・ <b>障害者の就労支援</b></li><li>・ <b>家族の会</b></li><li>・ <b>ボランティア</b></li><li>・ <b>精神障害者保健福祉手帳</b></li></ul>



# 56歳夏以降

心身状況等	活用できるかもしれない 方策
<p>☆自宅での家事、外出が一人ではできにくくなった時等。</p> <p>☆初診後1年6か月後</p> <p>☆契約能力に応じて</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>介護保険</b></li><li>・ <b>障害者総合支援法</b></li><li>・ <b>障害年金</b></li><li>・ <b>特別障害者手当</b></li><li>・ <b>障害者控除</b></li><li>・ <b>国民健康保険料の減免</b></li><li>・ <b>国民年金保険料の減免</b></li> <li>・ <b>成年後見制度</b> (補助、保佐、後見)</li></ul>

**○目標は生活の質(QOL)の実感、納得、理解**

**⇒自立した生活(認知症とともに生きる)**

**サービス等はそのための手段。  
ニーズを担うことが援助ではなく、  
決定に至るプロセスを支援する。**